

石橋湛山記念早稲田ジャーナリズム大賞記念講座
オープン科目「報道が社会を変えるー取材過程論ー」公開講座

ドキュメンタリー映画 上映会

会場：両日とも小野記念講堂（早稲田キャンパス27号館地下2階）

対象：早稲田大学学生・教職員 **※入場無料**



5月19日(木) 18:15～

『平成ジレンマー戸塚ヨットスクール30年そして、現在』

＜監督＞ 齊藤潤一（東海テレビ）

＜プロデューサー＞ 阿武野勝彦（東海テレビ）

＜制作・著作・配給＞ 東海テレビ・2010年・98分

1980年代、社会問題となっていた非行や登校拒否の子供達を、激しい体罰を含む訓練で再教育していた戸塚ヨットスクール。訓練生の死亡や行方不明事件を起こし、戸塚宏校長は“希代の悪役”として裁かれることになった。

2006年、刑期を満了した戸塚校長はスクールに復帰。現在、スクールには10名の訓練生が在籍しているが、体罰は封印され、そこにはかつての緊張感はない。

平成ニッポンが抱えるジレンマが、スクリーンに浮かび上がる。

5月30日(月) 18:15～

『ミツバチの羽音と地球の回転』

＜監督＞ 鎌仲ひとみ

＜プロデューサー＞ 小泉修吉

＜制作・配給＞ グループ現代・2010年・135分

日本のエネルギー最前線・上原原発計画に向き合う祝島の人々と、スウェーデンで持続可能な社会を構築する人々。

いかにして自分たちのエネルギーの未来を切り開くのか？ 現場からの問いかけは私達に選択を迫ってくる。

また同時に不可能とされていることを可能にする人間のエネルギーが、私たちと同じ全く普通の人々との感性と思いが、国の違いを超えて交差し新しいビジョンを描き出す。



「石橋湛山記念早稲田ジャーナリズム大賞」は、建学以来、多数の優れた人材を、言論、ジャーナリズムの世界に送り出してきた早稲田大学の伝統を踏まえ、広く社会文化と公共の利益に貢献したジャーナリスト個人の活動を発掘し、顕彰することにより、社会的使命・責任を自覚した言論人の育成と、自由かつ開かれた環境の形成に寄与することを目的として2001年に設立されました。

現場で活躍するジャーナリストをお招きする **大賞記念講座「報道が社会を変えるー取材過程論ー」**では、本年度講師陣の作品の中から、阿武野勝彦氏（東海テレビ・プロデューサー）および鎌仲ひとみ氏（ドキュメンタリー映画監督）の最新作を上映いたします。

【主催】 早稲田大学 広報室／オープン教育センター

【共催】 早稲田大学 ジャーナリズム教育研究所

【問合せ先】 「石橋湛山記念早稲田ジャーナリズム大賞」事務局（広報室内） TEL:03-3202-5454 E-mail:koho@list.waseda.jp